

ラクカラチャ

メキシコ民謡

作詞 佐木 敏

□□□

1.

山のふもとまで 続いている道

森のはずれには サイロが見えるよ

車にゆられて 仕事にでかける

ぼくたちの顔に 朝日がまぶしい

ラクカラチャ ラクカラチャ

ゆらゆらゆれて

ラクカラチャ ラクカラチャ

牧場(まきば)の中の

ラクカラチャ ラクカラチャ

でこぼこ道を

ラクカラチャ ラクカラチャ

車がゆくよ

2.

草刈りの仕事 ぼくたちの仕事

一日働き 車にいつぱい

乳をしぼるのは きみたちの仕事

空を見上げれば お日さま笑う

ラクカラチャ ラクカラチャ

ゆらゆらゆれて

ラクカラチャ ラクカラチャ

牧場(まきば)の中の

ラクカラチャ ラクカラチャ

でこぼこ道を

ラクカラチャ ラクカラチャ

車がゆくよ

3.

乾草(ほしくさ)を運ぶ 車の上でも

ギターにあわせて ゆかいに歌おうよ

夕日に向かふと 長い影ぼつし

ぼくらのあとから 追いかけてくる

ラクカラチャ ラクカラチャ

ゆらゆらゆれて

ラクカラチャ ラクカラチャ

牧場(まきば)の中の

ラクカラチャ ラクカラチャ

でこぼこ道を

ラクカラチャ ラクカラチャ

車がゆくよ

他に
津川主一
町田 直
穂高五郎
ともしび版 あり

ラ・クカラチャ

メキシコ民謡

作詞 佐木 敏

□□■

1.

山のふもとまで

続いている道

森のはずれには

サイロが見えるよ

車にゆられて 仕事にでかける

ぼくたちの顔に

朝日がまぶしい

ラクカラチャ ラクカラチャ

ゆらゆらゆれて

ラクカラチャ ラクカラチャ

牧場(まぎば)の中の

ラクカラチャ ラクカラチャ

でこぼこ道を

ラクカラチャ ラクカラチャ

車がゆくよ

ラ・クカラチャ

メキシコ民謡

作詞 佐木 敏



2.

草刈りの仕事 ぼくたちの仕事
一日働き 車にいつぱい

乳をしぼるのは

きみたちの仕事

空を見上げれば

お日さま笑う

ラクカラチャ ラクカラチャ

ゆらゆらゆれて

ラクカラチャ ラクカラチャ

牧場(まぎば)の中の

ラクカラチャ ラクカラチャ

でこぼこ道を

ラクカラチャ ラクカラチャ

車がゆくよ

ラ・クカラチャ

メキシコ民謡

作詞 佐木 敏

3.

乾草(ほしくさ)を運ぶ 車の上でも

ギターにあわせて

ゆかいに歌おうよ

夕日に向かうと 長い影ぼうし

ぼくらのあとから

追いかけてくる

ラクカラチャ ラクカラチャ

ゆらゆらゆれて

ラクカラチャ ラクカラチャ

牧場(まきば)の中の

ラクカラチャ ラクカラチャ

でこぼこ道を

ラクカラチャ ラクカラチャ

車がゆくよ

ラ・クカラチャ

メキシコ民謡

作詞 町田直

村の娘たちや 踊りが大好き
シヨールをなびかせ

愉快に踊るよ

村の若者も 踊りは大好き

靴音ひびかせ 陽気に踊るよ

ラクカラチャ ラクカラチャ

拍子をそろえて

ラクカラチャ ラクカラチャ

楽しく踊るよ

ラクカラチャ ラクカラチャ

拍子をそろえて

ラクカラチャ ラクカラチャ

陽気に踊るよ

ラ・クカラチャ

メキシコ民謡

作詞 不詳

兵隊はすすみ 村里へはいり
人々は出かけ これをば迎える
きれいな娘に ショウルをかけては
たたかいを忘れ たのしく歌う
ラクカラーチャ ラクカラーチャ
たんと美しい
ラクカラーチャ ラクカラーチャ
すてきな姿
ラクカラーチャ ラクカラーチャ
月がのぼれば
ラクカラーチャ ラクカラーチャ
南国の夢

兵隊はすすみ 村里をはなれ
人々は出かけ これをば見送る
また逢えるときは いつ来るのかしら
笑い声だけが 心にのこる
ラクカラーチャ ラクカラーチャ
たんと美しい
ラクカラーチャ ラクカラーチャ
すてきな姿
ラクカラーチャ ラクカラーチャ
月がのぼれば
ラクカラーチャ ラクカラーチャ
南国の夢

ラ・クカラチャ

メキシコ民謡

作詞 穂高五郎

0/0

僕らの胸には 血潮がたぎるよ
愚かな女は
メキシコにやいない
■
今宵こそ 踊りあかそう
太鼓をたたけ
かきならせギター

ラクカラチャ ラクカラチャ
みんなで踊ろう
ラクカラチャ ラクカラチャ
手をとりたちあがれ
かきならせギター
ラクカラチャ ラクカラチャ
みんなで歌おう
調子とり声そろえ
太鼓よひびけ

ともしび版あり

End

ラ・クカラチャ

メキシコ民謡
ともしび版

僕らの仲間が 集まるときは
いつでも必ず 踊る歌さ

■
歌って踊る歌さ

さあこれから 歌いたまえよ

ラクカラチャ ラクカラチャ
ギターを弾いて

ラクカラチャ ラクカラチャ

どんな時でも

ラクカラチャ ラクカラチャ

君のギターで

ラクカラチャ ラクカラチャ

歌いたまえよ

End